

NewsLetter



Narita International Friendship Society

No.272

世界の料理を楽しむ会 ネパール編 開催



10月4日(土)、中央公民館にて、世界の料理を楽しむ会が開催されました。今回は、成田市馬橋のネパール料理店「SAINO」のシェフ、ポウデルさんを講師にお招きし、ネパールの家庭料理「ダルバード」を作りました。

ダルバードはネパールを代表する伝統料理で、「ダル」は豆のスープ、「バート」はご飯を意味します。これに野菜のおかずや煮物、鶏肉や羊肉の煮込みなどを添えていただく、栄養バランスの取れた一皿です。

参加した会員からは、「ネパールの文化を感じながら、美味しい料理を味わうことができ楽しかった！」との声が多く寄せられました。



講師による説明と実演



ネパールの交流スタッフと一緒に



【ニュースレターのデジタル化及び LINE 公式アカウントの開設について】

前号でもお知らせしたとおり、環境への配慮およびデジタル化推進の観点から、今後は電子データにて配信いたします。これに伴い、LINE 公式アカウントを開設いたしました。まだご登録がお済みでない方は、右記 QR コードより LINE の友だち登録をお願いいたします。ニュースレターのほか、国際交流協会のイベント情報や各種お知らせをお届けします。



電子データでの閲覧が難しく、紙のニュースレターをご希望の方は、協会事務局（メール：nifs@ngy.3web.ne.jp/FAX：0476-22-4494）までご連絡ください。

サンブルーノ市の中学生訪問団から来成時の感想

ニューズレター夏号でもご紹介したとおり、成田市の姉妹都市であるアメリカ・サンブルーノ市から中学生の訪問団が、7月3日から9日まで成田に滞在しました。今回は、寄せられた感想をご紹介します。



Q1. 日本や日本文化で、最も驚いたことは何でしたか？

- おもてなしの心に一番驚きました。みんな本当に親切でした。
- 生徒たちがとてもハードな学校生活（早起き、自転車通学、長時間の授業、大量の宿題など）をこなしていることに驚きました。自分の生活がいかに楽か実感しました。
- 「4」という数字が不吉とされていること。
- 皆がとてもフレンドリーで、挨拶のたびにお辞儀をすることに驚きました。
- 日本ではトイレと洗面所が分かれていること。
- アメリカに比べて、公共の場がとても安全だった。

Q2. 旅行中に一番楽しかった活動は何でしたか？

- 東京スカイツリーに行ったことが一番楽しかったです。
- 猫カフェと祇園祭に行ったこと。
- 花火をしたり、スイカ割りをしたり、いろんな場所に行って絆を深めたこと。
- ハイキングが一番楽しかったです。
- 「房総のむら」へ行ったのが一番の思い出です。
- 鋸山に行ったこと。



Q3. 日本で食べたもので、一番美味しかった・面白かった料理は何ですか？

- そばが一番美味しかったです。味も食感も良かったです。
- 全部美味しかったです、特ににぎり寿司とうなぎが印象的でした。
- 大福。
- どれも美味しかったです、あえて選ぶなら味噌汁が好きでした。
- 一番面白かったのは冷たい麺料理です。
- スカイツリー近くで食べたうどんがとても美味しかったです。
- 日本のカレーがとても気に入りました。

Q4. 遠山中学校を訪問した際に、印象に残ったことは何ですか？

- 生徒たちが本当に歓迎してくれて、差別のようなものがまったくなかったことに感動しました。
- 生徒たちがとても勉強熱心で、学校生活を大事にしているのが伝わってきました。
- 学校を生徒自身が掃除していること。
- 学校の建物に入るときに靴を脱ぎ、制服を着ていることに気づきました。
- 先生が教室を移動するスタイルだったこと（生徒ではなく先生が移動する）。
- アメリカと比べて、日本の子どもたちは授業中も楽しそうにしていること。





『私の国際交流』

成田市文化国際課で国際交流協会に関する業務を担当しています、大迎俊一（おおむかい しゅんいち）です。私は1982年4月に日本航空に入社し、31年間の勤務を経て、2013年4月からは国際物流事業者の南海エクスプレスに勤務しました。その後、縁あって今年4月より成田市役所に入りました。これまで41年以上にわたり国際物流の分野で仕事をしてきた経験を持つ私ですが、実際にはその道のりは決して平坦ではなく、波乱万丈のものでした。



シンガポール ガーデン・バイ・ザ・ベイにて

初めての国際交流：香港赴任の経験

私が最初に国際的な環境に身を置いたのは、日本航空に勤務していた5年目、1987年1月に香港に赴任したことから始まります。神戸で育った私は、外国語に全く触れることなく育ったため、語学力に自信がありませんでした。赴任前、東京の上司からは「香港は英語が通じるから大丈夫」と温かく送り出されましたが、現地に到着してみると、英語よりも広東語が飛び交い、まさに「騙された！」という気持ちになりました。しかし、この状況も「天命だ」と受け入れ、できる限り現地の人々と時間を過ごし、英会話の個別レッスンを受けるなどして、少しずつ言葉を覚えていきました。

国際的な視野の広がり

帰国後は、貨物本部のマーケティング部門に異動し、海外支店の担当窓口として、毎月アジアや中国をはじめとする様々な国へ出張を重ねました。この経験を通じて学んだ最も大きな教訓は、「国や地域によって、考え方や価値観は大きく異なる」ということでした。特に、中国の人々は家族や親戚を非常に大切にしており、日本とは異なり広大な土地に多様な民族が住んでいることから、身内に対する信頼が深いと感じました。

このような経験から、各国の価値観を否定するのではなく、相手の立場に立ち、その考え方や価値観を尊重することが重要であることを学びました。そして、相手が自分を理解してくれるためには、こちらからもしっかりと自分の考えを伝えることが必要だと感じました。

コミュニケーションの重要性

国際交流において最も重要なのは、相手とのコミュニケーションです。自分の考えを明確に伝えることが、信頼関係を築くためには欠かせません。しかし、その伝え方も一方的ではなく、明るく楽しい雰囲気を作りながら行うことが、物事をスムーズに進める鍵だと実感しています。互いに誠意を持って接すれば、相手もこちらの意図を理解してくれると思います。

現在でも、香港や中国で知り合った数名の友人とは、時々連絡を取り合い、近況を報告し合い、懐かしい話をしています。このようなつながりが、私にとって国際交流の楽しさや深さを感じさせてくれます。

成田市での国際交流

現在は成田市文化国際課で働きながら、これまでの経験を生かして地域の国際交流活動に貢献できるように努めています。成田市は、国際的な観光地であり、さまざまな国や文化が交わる場所です。今後も、私の経験を活かして、成田市と世界をつなぐ架け橋となるべく努めていきたいと思っています。



【英会話サロン】

英語を通して、さまざまな国の人と交流し、異文化について学びましょう！

日時：12月6日（土）10:30～12:00 会場：ぱん茶屋（成田市上町 551）

定員：15名 会費：700円（会員限定 先着順） ※最低催行人数 5名

※当日キャンセルは極力お控えくださるよう、お願いいたします。

【新イベント 国際交流ひろば Global Friendship Day】

日本人と外国人の参加者同士で、お菓子を食べながら気軽におしゃべりしましょう。

日時：11月5日（水）・22日（土） 各日 10:00～12:00

会場：成田市文化芸術センター なごみの米屋 スカイトウンホール（JR 成田駅徒歩 1 分）

定員：各 30 名（先着順）

参加費：無料

持ち物：飲み物

問合せ：協会事務局 ☎23-3231

申込み：参加を希望する人は右記 QR コードからお申し込みください



申込用 QR コード

【会費納入のお願い】

会費のお支払いがまだお済みでない方は、右記の銀行口座へのお振込み、または事務局窓口にてお支払いをお願いいたします。

（※振込の際は手数料のご負担をお願いいたします）

引き続きご登録を継続いただくために、11月末までにお手続きをお願い致します。

個人会員：1,000円 学生会員：500円

ゆうちょ銀行 00160-2-42135

口座名 成田市国際交流協会

または、

千葉銀行 成田支店

普通口座 2291618

口座名 成田市国際交流協会理事長 品田 等

※今年度のお支払いの有無の確認は、事務局（Tel23-3231）へお問い合わせください。

【編集後記】

はじめまして。7月から当協会事務局スタッフに加わりました、米加田（めかだ）と申します。

本協会の取り組みやイベント情報を、より多くの皆さまにわかりやすくお届けし、国際交流の輪がさらに広がるきっかけとなれば幸いです。どうぞよろしくお願い致します。

Newsletter（2026 冬号は 1 月下旬発行の予定です）

【編集・発行】成田市国際交流協会広報部会（〒286-8585 成田市花崎町 760 成田市役所文化国際課内）